

実績書

補助対象事業の名称	遠隔操縦グラインダーロボットシステムの導入による安全職場の確立と、製造効率を向上させる事業
実施内容	遠隔制御可能な産業ロボットを導入して、ダクタイル鑄鉄異形管の鑄物素材に発生する湯口跡・押し湯跡・鑄バリの除去を作業者が直接処理するでなく、ハンドグラインダを装着したロボットを遠隔制御して作業を行う環境を構築した。
期待される効果	<p>⇒振動工具を直接所持しない為身体負荷が無く、連続作業が可能となる。200%の作業時間が確保できるので、大きな効率化が見込める</p> <p>⇒重筋作業からの解放により、属人化が解消され生産性の向上が想定される</p> <p>⇒作業環境の改善により、怪我・振動障害・粉塵災害の発生リスクの低減が期待される</p> <p>⇒同一作業場の作業者との接触が回避でき、感染症対策になる。</p> <p>⇒重筋作業でなく、作業環境も良いことから、女性や高齢者も作業者となり得、作業者不足対策になる</p> <p>⇒DX・IT化により、リクルートや、取引先へのPR設備となりえる。</p> <p>既にメーカーサイトや、新聞にも掲載され、同業者数社から生産性や使用感などの問い合わせが来ている。</p>
今後の展開について	ワークの傾動や回転も遠隔制御や自動化し出来るよう、研究していく。 複数台導入し、湯口・押し湯の切断も行えるようにし、手動処理作業者を半減させる。

(注) 1 実績書の内容について、詳細に記載すること。(別紙も可)

収支決算書

収入の部

(単位：円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助対象経費		うち補助対象経費		うち補助対象経費	
自己資金	22,000,000	22,000,000	20,000,000	20,000,000	△ 2,000,000	△ 2,000,000	
函館市補助金	10,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	0	
合計	32,000,000	32,000,000	30,000,000	30,000,000	△ 2,000,000	△ 2,000,000	

支出の部

(単位：円)

項目	本年度予算額		本年度決算額		増減		内訳
		うち補助対象経費		うち補助対象経費		うち補助対象経費	
Successor-G 遠隔操作のグライ ンダーロボットシ ステム	32,000,000	32,000,000	30,000,000	30,000,000	△ 2,000,000	△ 2,000,000	本体一式
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
					0	0	
合計	32,000,000	32,000,000	30,000,000	30,000,000	△ 2,000,000	△ 2,000,000	

※ 導入後に
同着にPR
出来るという理由で
事業者との間でPR
代行費用がなかったこと

収支差引額 0 円

(注) 1 金額については、すべて消費税および地方消費税相当額を除いた額で記載すること。